

お客さま 各位

釧路信用金庫

令和2年度地域密着型金融の取組状況について

令和2年度地域密着型金融の取組状況について以下のとおりご報告いたします。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業期・新規事業展開期における支援

- ◎新規創業支援について、全店での取扱は41件、451百万円の実績となりました。
- ◎新事業展開時における各種補助事業等の申請支援や、公的機関の支援コーディネートにも積極的に取り組んでおります。

(2) 成長期における支援

- ◎成長期における支援について、ビジネスマッチングを中心に以下の取組みを行いました。
 - ①釧路管内の事業者支援のため平成28年度に発足した「販路拡大・磨き上げ研究会」(当金庫、釧路市、釧路商工会議所連携)事業の一環として、令和3年1月20日(水)に個別相談会・実践商談会を共催しました。
参加した事業者は、自社の商品提案を行ったほか、急拡大するEC市場と「コロナ禍の今とこれから」を見据えて、事業者の目線に立った商品開発・販売戦略のアドバイス等を受けておりました。
 - ②札幌市内の卸売企業が道内各都市に出向き、各都市食品メーカーと商談を行う「卸売キャラバン隊商談会」が、令和2年11月12日(木)・13日(金)釧路にて開催されました。
当金庫のお客さまとサポート役として各支店の職員も参加し、百貨店バイヤーや商社との商談に臨んだほか、食の専門家からアドバイス等も受けました。

(3) 経営改善期における支援・事業再生期における支援

- ◎営業店と企業支援グループが連携した企業支援活動
営業店や業務部に設置されている企業支援グループが中心となり改善計画の進捗状況の管理や経営指導・アドバイス等を行いました。
- ◎認定支援機関との連携
経営改善支援の実効性向上を図るため、認定支援機関との連携により経営改善計画策定支援事業の活用に取り組みました。

(4) 事業承継期における支援

一般社団法人しんきん事業承継支援ネットワーク（旧名称：一般社団法人北海道事業承継センター）や中小企業基盤整備機構との連携により、事業承継個別相談会を開催し、経営者の皆さまの相談に対応いたしました。

(5) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けているお客さま支援

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けているお客さまに対し、金庫一丸となって各種支援を実施しました。具体的には、休日融資相談窓口の設置や、プロパーの特別融資制度の新設、営業部店長の融資権限の拡大などを行ったほか、WEB完結ローンの取扱い開始や、事業再構築に取り組むお客さまをサポートする本部横断的な企業支援プロジェクトチームの立ち上げなどを実施しました。

2 地域の面的再生への積極的な参画

(1) 地域全体の活性化、同時的・一体的な「面」的再生への取組

令和3年3月27日（土）、当金庫は「阿寒摩周国立公園活性化に向けた摩周エリアの観光資源磨き上げ連携協定」を締結しました。

本協定は、当金庫、弟子屈町、環境省、北海道、北洋銀行、北海道エアポート、地域経済活性化支援機構（REVIC）が、互いのノウハウ、ネットワークを活用しながら、弟子屈町など摩周エリアの観光資源を磨き上げ、国内外の観光客誘致と広域連携を促進するための協定です。

当金庫は、新事業展開などに取り組む事業者の方々への金融および経営支援、利用者目線での助言や各種情報の提供などに取り組むことで、経済的にも持続可能な観光・まちづくりに貢献していくことが期待されております。

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

地域の活性化に向け、以下の取組みを推進しました。

◎お取引先に対して各種補助事業などの情報提供及び支援を行いました。

◎釧路しんきん地域貢献表彰制度において、「新技術奨励賞」と「地域貢献奨励賞」、「地域のブランド化推進奨励賞」、「学生研究奨励賞」として、以下の方々を表彰しました。

【地域貢献奨励賞】

くしろ元町青年団（団長 菊池 吉史 様）

2015年より釧路発祥の地である米町・南大通等の地区を【元町】と呼び、若者を中心に定住・交流人口を増やすための活動（“フットパス” “おてら食堂”等）を行い、冊子・YOUTUBE等で情報発信。また昨年より石川啄木や地区の歴史等の地域情報を発信する【くしろ元町講座】を立ち上げ、市民にその魅力を再発見して頂くための活動を行っております。地元資源を切り口とし、元町地区に生まれ、居住する若者の横のつながりを中心とした、バラエティに富む積極的な魅力ある活動内容が高く評価され受賞となりました。

NPO法人 トラストサルン釧路（理事長 黒澤 信道 様）

当法人は1988年より、釧路湿原の保全のために、市民から資金を集めナショナルトラスト運動を実施しております。寄付金、助成金、寄贈、競売等により湿原、土地を【自然保護地】として取得し、湿原の保護・環境保全、植樹、水鳥観察会等を行っております。湿原保全の重要性とその希少価値を市民に発信するなど、長きに亘る地道な環境保全活動への取り組みと土地取得実績が、SDGs（持続可能な開発目標）の観点からも高く評価され受賞となりました。

【地域のブランド化推進奨励賞】

一般社団法人 阿寒アイヌコンサルン（理事長 廣野 洋 様）

当法人は2019年、アイヌ文化の振興・普及活動のため設立された一般社団法人。構成員である阿寒湖アイヌ民族により、アイヌ文化の正しい伝承、アイヌ文様を使用した商品開発、監修、コンサルティング、マネジメント活動を行うとともに、アイヌ文様デザインの認証制度を確立し保護に努めております。それまで知的財産上の権利に関し、いわば“野放し”状態であったアイヌ伝統文化について、「知的財産権保護」のフィルターをかけ、正しいアイヌ文化の保持とブランドの確立に尽力している点が高く評価され受賞となりました。

【学生研究奨励賞】

加藤 龍兵 様（釧路工業高等専門学校）

テーマ『自然言語処理技術による介護サービス施設における業務負担軽減化に関する研究』
当研究は、介護施設現場における利用者の記録・データを用い、自然処理技術手法と機械学習（AI）を応用し、介護業務負担軽減のためのサポートシステムを開発する研究です。介護現場の生の状況を現場から聞き、少しでも労働環境の改善に寄与するため、プログラミング技術を駆使してシステム開発を行う高い志等が評価され受賞となりました。

釧路短期大学 会計情報分析ゼミ

テーマ『釧路市における域内連関の実態調査』

当研究は釧路・根室地域の中小企業へのアンケート結果を統計的に分析することで、域内連関の実態を調査し、域内連関に積極的に取り組む企業の特性を明らかにしていく研究です。2013年の釧路公立大学下山ゼミの調査以来、その後の調査は行われておらず、域内連関の実態は明らかになっていませんでした。中小企業家同友会と釧路短期大学の共同研究の形態をとることで、域内連関に取り組む企業等の実態を明らかにしようとする意義が評価され受賞となりました。

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

- ◎ 特殊詐欺被害防止講習会の実施
- ◎ ディスクロージャー誌、PR誌による積極的な情報発信
平成5年より「ディスクロージャー誌」を発行し、当金庫の業務や職員の紹介、地域情報などを発信しています。
- ◎ ホームページによるタイムリーな情報発信
商品情報やセミナーの開催情報など、様々な情報をわかりやすく発信しています。

以 上